

平成21年度事業報告書

1. 事業活動の基本方針

平成21年度においては、会員加入の促進及び財政基盤の安定化を図りつつ、財団法人人権教育啓発推進センター寄附行為第3条の青少年等に対する同和問題など人権に関する総合的な教育・啓発及び広報等の事業を次のとおり実施した。

2. 事業内容

(1) 人権教育・啓発及び広報事業

① 人権講座・セミナーの実施

ア. 芝大門人権講座の開催

人権意識の普及高揚を目的に、一般市民を対象とした芝大門人権講座を9回開催し、のべ280人の参加者を集めた。

○ 第1回目

開催日：2009(平成21)年9月11日

テーマ：「『聴導犬しろちゃん』の補助犬実演講座」

講師名：有馬もと(社会福祉法人日本聴導犬協会会長)

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

参加者数：21人

○ 第2回目

開催日：2009(平成21)年10月22日

テーマ：「下町で診る ～高齢者・介護問題～」

講師名：阿部聡(阿部メディカルクリニック院長)

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

参加者数：12人

○ 第3回目

開催日：2009(平成21)年11月9日

テーマ：「子どもたちのケータイ世界」

講師名：藤川大祐(千葉大学教育学部准教授)

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

参加者数：17人

○ 第4回目

開催日：2009(平成21)年12月7日

テーマ：「国連障害者権利条約 ～この条約が目指す社会～」

講師名：長瀬修(東京大学大学院経済学研究科特任准教授)

開催場所：東京ウィメンズプラザ・ホール

参加者数：51人

○ 第5回目

開催日：2010(平成22)年1月22日

テーマ：「ワーク・ライフ・バランスと幸せになる働き方」

講師名：土埴内昭雄(株式会社ニッセイ基礎研究所主任研究員)

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

参加者数：34人

- 第6回目
 開催日：2010(平成22)年2月17日
 テーマ：「高齢者虐待 ～早めの発見！ 早めの対応！」
 講師名：梶川義人（NPO法人日本高齢者虐待防止センター理事・淑徳短期大学兼任講師）
 開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター
 参加者数：19人
- 第7回目
 開催日：2010(平成22)年2月25日
 テーマ：「自殺のない『生き心地の良い社会』をめざして」
 講師名：清水康之（NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表・内閣府参与）
 開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター
 参加者数：50人
- 第8回目
 開催日：2010(平成22)年3月12日
 テーマ：「『コンパシト（羅針盤）』における人権教育の理論と指導法」
 講師名：福田弘（聖徳大学大学院教授）
 開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター
 参加者数：26人
- 第9回目
 開催日：2010(平成22)年3月18日
 テーマ：「性暴力被害者の心理 ～沈黙を破ったとき～」
 講師名：信田さよ子（原宿カウンセリングセンター所長）
 開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター
 参加者数：50人

イ. コンパスセミナーの開催

学校教育現場や地域の社会教育担当者を対象とした、参加型人権教育セミナー（ヨーロッパ評議会編『コンパス [羅針盤]』に基づく人権教育・啓発－基礎理論および実践演習－）を会員との共催により4回開催し、のべ96人の参加者を集めた。

- 豊岡会場
 共催団体：豊岡市教育委員会
 開催日：2009(平成21)年7月29日～30日
 場所：豊岡公民館（兵庫県豊岡市）
 講師名：福田弘（聖徳大学大学院教授）
 参加者数：23人
- 福岡会場
 共催団体：福岡県・福岡県教育委員会
 開催日：2009(平成21)年9月9日～10日
 場所：福岡県人権啓発情報センター（福岡県春日市）
 講師名：福田弘（聖徳大学大学院教授）
 参加者数：23人

- 大阪会場
共催団体：財団法人アジア・太平洋人権情報センター
開催日：2010(平成22)年2月19日～20日
場所：pia NPO(大阪府大阪市)
講師名：福田弘(聖徳大学大学院教授)
参加者数：31人
- 熊本会場
共催団体：熊本県
開催日：2010(平成22)年3月3日～4日
場所：熊本県庁本館(熊本県熊本市)
講師名：福田弘(聖徳大学大学院教授)
参加者数：19人

ウ. 「企業の社会的責任と人権」セミナーの開催

企業が行う人権啓発活動等を支援することを目的とした企業幹部等向けセミナーを3回開催し、のべ600人の参加者を集めた。

- 東京会場(東京都千代田区)
実施日：2009(平成21)年11月5日
場所：都市センターホテル
来場者数：262人
- 大阪会場(大阪府大阪市)
実施日：2009(平成21)年12月11日
場所：ドーンセンター
来場者数：237人
- 広島会場(広島県広島市)
実施日：2010(平成22)年1月29日
場所：メルパルク広島
来場者数：101人

エ. えせ同和行為対策セミナーの開催

企業が行う人権啓発活動等を支援することを目的とした、えせ同和行為対策セミナーを次のとおり開催した。

- 東京会場(東京都千代田区)
実施日：2009(平成21)年7月31日
場所：全社協・灘尾ホール
来場者数：119人

② 人権啓発イベントの実施

ア. 人権啓発フェスティバルの実施

より多くの方々の参加を確保し、人権意識の普及高揚を図ることを目的に、全国2会場(岐阜県・宮城県)で平成21年度人権啓発フェスティバルを実施した。また、人権シンポジウムの内容について全国紙による新聞広報を実施した。

- 岐阜会場（岐阜県岐阜市）
実施日：2009（平成21）年9月19日～20日
場所：長良川国際会議場
来場者数：21,000人
- 宮城会場（宮城県仙台市）
実施日：2009（平成21）年10月3日～4日
場所：夢メッセみやぎ
来場者数：42,600人
- シンポジウム内容等新聞掲載（宮城会場）
掲載紙：読売新聞全国版（朝刊）
掲載日：2009（平成21）年12月6日

③ 人権に関するマスメディアを活用した広報事業

ア. 人権啓発活動総合推進事業の実施

広く人権思想の普及高揚を図ることを目的に、次の広報事業を実施した。

- 朝日新聞全国版（朝刊）による、新聞広報
テーマ：「Jリーグ百年構想・子どもの人権プログラム」
掲載日：平成21年6月28日
- 全国地方新聞社連合会各紙（46社47新聞52紙）による、新聞広報（人権週間）
掲載期間：平成21年12月3日～12月4日
- FM放送広告
放送局：JFN（ジャパンエフエムネットワーク）38局
放送期間：平成21年12月4日～12月10日
- インターネットバナー広告（人権週間）
広告媒体：
・Yahoo! JAPANデモグラフィックターゲティングライトボックス
・MicroAdブロードリーチ
広告掲載期間：平成21年12月2日～12月10日
- 街頭大型ビジョン広告（人権週間）
上映場所：東京都内及びその近郊（神奈川、埼玉、千葉）の8ヶ所
1回目：平成21年11月28日～11月29日
2回目：平成21年12月4日～12月10日
- 人権啓発デジタルコンテンツの制作
内容：いっこく堂氏の腹話術を通じ、笑いを取り入れた30秒×6種のコンテンツ

イ. イベントタイアップ事業の実施

人権尊重理念の普及を推進することを目的に、青少年や地域社会に大きな影響力を有するJリーグ所属のチーム等と連携して、全国40ヶ所で次のような人権啓発活動を実施した。

- スタジアムビジョンでの啓発映像放映
- スタジアムアナウンスによる啓発放送
- ハーフタイムにおける啓発活動
- ウォークバルーンを使用した啓発活動
- 啓発横断幕の掲出
- 啓発ポスターの掲示
- ホームページやマッチデープログラム等への啓発広告掲載
- 啓発物品（マグネットクリップ、カード等）の配布
- 街頭啓発活動への選手派遣
- サッカー教室（人権教室を含む）の開催
- 啓発テレビCMの放送 等

(2) 人権に関する調査・研究事業

人権啓発事業の効果測定検証方法を検討するとともに、その検証方法でこれまで実施した啓発事業の効果を検証し、今後の展開施策等について報告書にまとめ、関係機関に配布した。

(3) 人権に関する情報収集・提供事業

① 人権教育・啓発情報誌「アイユ」の発行

人権に関する総合的な情報誌として、定期刊行物「アイユ」（月刊）を発行した。
発行部数：16,000部/月

② インターネットによる情報提供

ア. ホームページによる情報提供

人権教育・啓発に関する情報・資料を収集し、ホームページ等で提供した。
ホームページアクセス数：約720,000件

イ. データベース運営・活用

国及び地方公共団体等から提供された人権教育・啓発に関する各種情報・資料等を収集・整理し、人権関係情報データベース（スマイルネット）に登録すると同時に、より整理された形で人権に関する情報を提供した。

③ 人権ライブラリー事業の実施

地方公共団体、各種研究団体等で制作した人権に関する書籍・図画・ビデオ等を収集・購入し、財団法人人権教育啓発推進センター内に設置した「人権ライブラリー」において、人

権関係情報として閲覧・貸出等広く一般の人々に提供した。

また、法務大臣表彰を行うために、全国の地方公共団体が制作した人権啓発資料を収集し、優秀な作品の選出作業を行うとともに人権ライブラリーの資料として貸出を行った。

さらに、人権ライブラリー充実を図ることを目的に、絵本作家による子どもと大人のための「読み聞かせ」を3回開催し、のべ145人の参加者を集めた。

＜利用実績＞（平成22年3月31日現在）

- 人権ライブラリー来館者数 3, 166人
- ホームページアクセス件数 15, 257件
- 人権ライブラリーメールマガジン購読者数 1, 122人
- 総貸出件数 1, 128件
- 総貸出資料数 2, 025件
- 多目的スペースの利用件数 103件

＜書籍・ビデオ等の収集状況＞（平成22年3月31日現在）

- 書籍、資料等 15, 384冊
- ビデオテープ（DVD含む） 1, 312本
- 16mmフィルム 42本
- 展示パネル 31点
- 音声資料 9点

＜法務大臣表彰のために収集した資料＞

- 平成21年度作品数 1, 850点
- 受賞作品
 - ・最優秀賞
北九州市（映像作品）
 - ・優秀賞
愛知県（ポスター部門）
仙台市（出版物部門）
徳島県（新聞広告部門）
熊本市（映像作品部門）

＜絵本作家による子どもと大人のための「読み聞かせ」の開催＞

- 第1回目
開催日：2010（平成22）年2月26日
朗読作品：「ぞうのこどもがみたゆめ」他
読み手：志茂田景樹
開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター
参加者数：58人
- 第2回目
開催日：2010（平成22）年3月10日
朗読作品：「うちにあかちゃんがうまれるの」他
読み手：いとうえみこ
開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター
参加者数：35人
- 第3回目
開催日：2010（平成22）年3月26日
朗読作品：「けんかのきもち」他
読み手：柴田愛子

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

参加者数：52人

(4) 人権に関する国際的連携事業

国連人権高等弁務官事務所（UNHCHR）が発行するプレスリリースを翻訳して提供した。

(5) 人権啓発・研修に関する相談事業

人権啓発活動等に関する地方公共団体からの相談や企業向け研修などについての企業等からの相談に対し、助言及び関係機関への紹介等を行った。

(6) 人権に関する支援事業

① 人権啓発資料等の制作

地方公共団体等が行う人権啓発事業を支援するため、昨年までに制作した資料を増刷したほか、人権啓発に必要な資料等を新規に17種類制作し提供した。

ア. 人権啓発パンフレット等の制作

- 人権啓発パンフレット「人権について考える」（2010年版）
- 人権啓発パンフレット「心ひらこう」（2010年版）
- 人権啓発パンフレット「人権ア・ラ・カルト」（2010年版）
- What's JINKEN シリーズ 「ハンセン病と人権」
- 人権ポケットブック「アイヌの人々と人権」
- 人権ポケットブック「罪を償った人と人権～刑を終えて出所した人～」
- パンフレット「企業における人権研修シリーズ 1『セクシュアル・ハラスメント』」
- パンフレット「企業における人権研修シリーズ 2『パワー・ハラスメント』」
- パンフレット「企業における人権研修シリーズ 3『同和問題とえせ同和行為』」
- パンフレット「企業における人権研修シリーズ 4『雇用と人権』」
- パンフレット「女性の人権 気付くことから始めよう！」
- パンフレット「人権啓発活動ネットワーク協議会啓発活動事例集
『この活動がすごい！タイプ別人権啓発活動のアイデア』」
- 平成20年度「企業の社会的責任と人権」セミナー概要 APPROACH
- えせ同和行為対応リーフレット「えせ同和行為には…みんなでNO！」
- 児童虐待防止リーフレット
- 「振り込め詐欺は人権侵害」リーフレット
- クリアファイル（4コマ漫画編） 等

イ. 人権啓発資料等の増刷・頒布

各種人権啓発資料等を増刷のうえ実費頒布した。

ウ. 人権啓発ビデオの制作

ネットいじめ等、主に中高生が携帯電話やインターネットを利用する上での問題点をテーマにした「インターネットの向こう側」を制作した。

エ. 人権啓発資料の制作受託

企業からの依頼により、人権研修用の資料制作を6件受託した。

② 人権研修等の実施

ア. 地方公共団体・企業等からの依頼により、人権研修等を26件受託した。

イ. 人権啓発指導者養成研修の実施

地方公共団体等の職員を対象として人権啓発の指導者を養成することを目的に、人権啓発指導者養成研修会を次のとおり実施した。

○ 東京会場（東京都港区）

実施日：2009(平成21)年9月2日～4日

場 所：メルパルク東京

参加者数：68人

○ 京都会場（京都府京都市）

実施日：2009(平成21)年9月28日～30日

場 所：メルパルク京都

参加者数：101人

○ 福岡会場（福岡県福岡市）

実施日：2009(平成21)年10月14日～16日

場 所：アクロス福岡

参加者数：63人

ウ. 国家公務員研修の実施

国家公務員を対象として、人権問題に関する理解と認識を深めることを目的に、国家公務員等研修を次のとおり実施した。

○ 前期（東京都港区）

実施日：2009(平成21)年9月16日

場 所：ニッショーホール

参加者数：385人

○ 後期（東京都港区）

実施日：2010(平成22)年2月17日

場 所：ニッショーホール

受講者数：420人

エ. 企業向け研修の実施

企業の人権研修担当者、経営者等を対象に、人権意識の普及・高揚を図ることを目的に、「組織の持続可能な発展をめざして ～講演とパネルディスカッションによる人権・CSR研修会～」を次のとおり実施した。

実施日：2009(平成21)年5月8日

場 所：アイビーホール 青学会館（東京都渋谷区）

参加者数：151人

③ 会員を対象とした事業の実施

会員相互の交流を図るため「平成21年度財団法人人権教育啓発推進センター会員交流の集い」を次のとおり開催した。

○ 東京会場

実施日：2010(平成22)年1月13日～14日

場 所：財団法人人権教育啓発推進センター（東京都港区）
東京都立産業貿易センター（東京都港区）

参加者数：22人

○ 大阪会場

実 施 日：2010(平成22)年1月18日

場 所：エルおおさか（大阪府大阪市）

参加者数：21人

○ 北九州会場（北九州市との共催）

実 施 日：2010(平成22)年2月2日

場 所：西日本総合展示場AIMビル（福岡県北九州市）

参加者数：21人

④ 出版事業の実施

ヨーロッパ評議会が発行した、子どもを対象とした人権教育総合マニュアル「コンパシート」を出版した。

3. 運営関係

(1) 会員加入状況

会員区分	2009(平成21)年3月31日 現在会員数	2010(平成22)年3月31日 現在会員数
地方公共団体	309 会員	284 会員
企業等	21 会員	22 会員
個人	102 会員	101 会員
合計	432 会員	407 会員

(2) 会議の開催

① 理事会の開催

ア. 第72回理事会の開催

開催日：平成21年5月25日

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

議案

- 平成20年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)に関する件
- 平成21年度収支予算書の変更に関する件
- 評議員の任期満了に伴う、選出に関する件
- 会員規則の改正に関する件

イ. 第73回理事会の開催

開催日：平成22年3月8日

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

議案

- 平成21年度収支予算の変更に関する件
- 平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件
- 公益認定後の最初の評議員の選任方法に関する件

② 評議員会の開催

ア. 第32回評議員会の開催

開催日：平成21年5月14日

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

議案

- 補欠理事の選任に関する件

イ. 第33回評議員会の開催

開催日：平成21年5月26日

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

議案

- 平成20年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)に関する同意の件
- 平成21年度収支予算書の変更に関する件

ウ. 第34回評議員会の開催

開催日：平成22年3月12日

開催場所：財団法人人権教育啓発推進センター

議案

- 平成21年度収支予算の変更に関する同意の件
- 平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）に関する同意の件
- 役員任期満了に伴う、選任に関する件

(3) 国及び地方公共団体等が実施する事業等の後援・協賛

① 第7回全国隣保館フォトコンテストの協力

＜主催＞全国隣保館連絡協議会

＜期間＞2009(平成21)年5月19日～2010(平成22)年3月31日

② 平成21年度「人権フォーラムin2009」の協賛

＜主催＞東京都人権啓発ネットワーク協議会（東京都・東京法務局・東京都人権擁護委員連合会）

＜期間＞2009(平成21)年8月28日～2009(平成21)年8月30日

③ 「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2009in札幌の後援

＜主催＞札幌市、札幌市教育委員会、「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム実行委員会

＜期間＞2009(平成21)年9月3日～2009(平成21)年9月4日

④ 第61回人権週間の後援

＜主催＞法務省、全国人権擁護委員連合会

＜期間＞2009(平成21)年12月4日～2009(平成21)年12月10日

⑤ シンポジウム「企業における人権・労働への取り組みについてーグローバル・コンパクトの理念をいかしてー」の後援

＜主催＞グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

＜期間＞2009(平成21)年12月10日

⑥ 第6回ジェントルハートコンサート～いじめのない社会を創る「やさしい心」～の後援

＜主催＞特定非営利活動法人ジェントルハートプロジェクト

＜期間＞2010(平成22)年3月14日

⑦ 第6回ハンセン病市民学会in瀬戸内・プレ企画 八重樫信之写真展「絆ー日本・韓国・台湾のハンセン病ー」～の後援

＜主催＞第6回ハンセン病市民学会総会・交流集会in瀬戸内現地実行委員会

＜期間＞2010(平成22)年3月31日～2010(平成22)年4月5日

(4) 社会貢献、環境問題等への取り組み

本年度は、次の事項について取り組みを行った。

＜社会貢献の取り組み＞

- 障害者の経済的自立を支援する趣旨で、見積・企画競争へ授産施設の参加を促した。
- 社会貢献活動の一環として、ユニセフ本部に対する、発展途上国の子ども達への予防接種用ワクチン支援活動の協力支援として、使用済みのペットボトルキャップを収集し、関係機関へ寄付した。

＜環境問題への取り組み＞

- 資源の有効利用として、印刷物の再生紙使用、内部書類の裏紙使用及び環境負荷の少ないインク使用等を促進した。
- 省資源、省エネルギー対策の一環として、昼休み時の電気一斉消灯の実施、夏季におけるエコスタイルの奨励、冷暖房の使用の抑制及びノー残業デーの実施等を促進した。

＜人権に配慮した取り組み＞

- 視覚障害者に配慮し、点字名刺の活用を促進した。
- 各種講座やセミナーなどで、情報バリアフリーの促進の観点から手話通訳及び要約筆記を可能な限り準備した。

(5) 公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革に対応するため、定款案、規則案の作成等を行った。